

実施報告書

1. 確認事項等

施設番号	66-1434									
施設名	下高井戸保育園									
施設所在地	東京都杉並区下高井戸3-31-11									
法人名	社会福祉法人けいわ会									
活動期間	令和	7	年	6	月	から 令和	8	年	3	月
活動内容の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。									
	公表したホームページ等のURL					https://www.keiwa-kai.jp/shimotakaido/				

2. 活動報告（注1）

番号	1					
テーマ	野菜を育てる					
実施回数・期間 （注2）	合計8回（6月2回、7月2回、10月1回、11月1回、12月1回、3月1回）/令和7年6月より令和8年3月まで ただし、水やり、雑草取り等はほぼ毎日					
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
	人	人	人	24人	24人	24人
活動内容 （注3）	<p>園庭が広く畑もある。昨年度はさつま芋にフォーカスして行ったが、年度末にみかんの収穫を行い、次年につなげる計画をした。</p> <p>本年度も畑はさつま芋を栽培するが、プランターで各クラスがそれぞれの野菜を栽培し、収穫する。また、移動果樹園に依頼し、1年間で3回園内では育てられない野菜、果物の収穫作業を経験することで、食物を育てるプロセスを学び、食べ物大切に育てる気持ちを育てることを目的とした。</p> <p>6月4日…野菜の苗植え（3.4.5歳児） 6月4日よりほぼ毎日…水やり（3.4.5歳児） 7月頃より週に1度程度…雑草取り（3.4.5歳児） 6月30日…トウモロコシ狩り（3.4.5歳児クラス）・トウモロコシの絵を描く（5歳児クラス） 適宜 野菜の収穫（3.4.5歳児クラス） 7月11日…お泊り保育（お楽しみ会：野菜博士）5歳児クラス 7月12日…お泊り保育（朝の水やり）5歳児クラス 10月24日…芋ほり（4.5歳児クラス） 11月11日…焼いも（全クラス） 12月 9日…みかん狩り 3月26日…いちご狩り</p>					
活動における チェックリスト	グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。					
	※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 園庭に畑やプランターがあるので他クラスの子どもたちがいる中で活動をしていた。他クラスの子どもたちも興味を持って活動を見たりその活動の意味を質問したりして、関わっていた。					
	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。					
	※記録をどのように行ったか 子どもたちの言葉をメモで記録するとともに、生き生きとした活動の様子をスマートフォンやiPadで撮影し、PCを用いて写真や映像にて記録した。					
	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。					
	※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 子どもたちが自由に道具を使用したり、素材を選んだりしながら自分の興味に基づいて自由に活動できる環境を整えた。保育者は子どもの主体性をもとに活動を展開し、見守ることを心掛けた。（雑草取りや水やり、鳥などから実を守る手段など、どのようにしたら一番やりやすいかを友だちと一緒に考えていた。）土づくりなどは大人がやって見せて、その意味や注意事項を子どもたちに伝えた。					
記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。						

※振り返りの実施方法
クラス会議の時間を活用し、撮影した写真や映像を見ながら、保育者同士で振り返りを行った。記録をもとに、子どもたち一人ひとりが何に関心を持ち、どのようなアイデアを持っていたかについて理解を深めた。
幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。
※教諭や保護者等への共有方法
保護者に対しては、日々の活動報告をもって探究活動の様子を周知した。加えて、園のホームページにおいても活動内容を掲載した。
次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。
※継続的な実施のための工夫
活動中の子どもたちの反応や興味関心に着目した。作業の意味を知ることさらに探求心が高まっていた。継続性を大切にしながら視点を変えた活動を模索した。

(注1) 活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

(注2) 「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的(月を単位とする複数月)に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

(注3) 「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。